

いのち輝くいつせの里

前山小学校 校長だより

令和5年12月20日

文責 植木政行

『前山小学校の思い出』 大学3年 酒井永遠

私の前山小学校での生活を思い返すと、ひたすらに目の前の楽しいことを全力で楽しみ、友達とグラウンドを走り回っていた思い出がよみがえります。

毎日授業が終わるチャイムが鳴るとみんながうずうずし始め、当時の前山小学校では少ない方だった12人の同級生全員で「終わりの挨拶」と同時にサッカーボールを持ってグラウンドに飛び出しました。10分休みも業間休みも丸々使ってサッカーをしたり、ジャンボ休みには、「みな遊び」でサッカーやキックベースをしたりしていました。雨の日には「フレस्प」で「だるまさんが転んだ」をしたこと、先生に怒られないように廊下を歩いているか走っているかギリギリのラインの早歩きで鬼ごっこをしたこと、体育館でドッジボールをしたこともとても記憶に残っています。その勝ち負けの結果によって喧嘩になることは日常茶飯事でした。この様に私の小学校の記憶で1番最初に出てくるのは休み時間の思い出がほとんどです。

授業中の思い出といえば、5年生の時にひたすら算数の授業を受けたことが1番に出てきます。国語の時間に全員で教科書を丸読みしていると脚注にグラフが出てきてそのまま算数の授業になってしまい、休み時間返上で算数の授業を受けたことが何度もありました。良い思い出、楽しかった思い出がたくさんあれば、苦い思い出もたくさんあります。どんな思い出も私にとってはとても素敵な思い出として残っています。そんな思い出ができたのは、前山の素晴らしい自然と環境があったからです。そんな環境があったからこそ、同じ学年の12人と遊び、学ぶのが大好きでした。

2014年の夏休み、丹波市豪雨災害が起きました。当時私は小学6年生でした。いつも当たり前に見ていた風景とは全然違う前山の風景になり、たくさんの戸惑いを感じました。夏休みなのに友達と会うことが出来なくなりました。9月1日から始まった学校は友達と会えたという安心感をひしひしと感じました。しかし学校が始まったと思えばスクールバスでの登校になり、大好きだったグラウンドで遊ぶこともしてはいけなくなりました。

延期して開催されたその年の運動会、小学校生活6年目にしてはじめて、応援合戦で地域の方々に向けてのエールを送りました。いつも「おはようございます。」と言えば「おはよう。」と、「帰りました。」と言うと「おかえり。」と、笑顔で返してくださる地域の方々の温かさにやっと少し恩返しが出来たということを感じたのを覚えています。

同級生の全員が成人し、就職や進学などそれぞれの道に進んだ今でも、お盆や年末年始には予定を合わせ、会うことができる仲間の前山小学校で出会うことができました。

違う県に進学し地元である前山を離れた今、前山の良さを改めて感じています。春はたくさんの桜が咲き、夏には青々とした山に囲まれ、秋には山が赤や黄色に色づき、冬には雪が降る。このように四季を間近に感じることができる。そんな前山小学校で、小学生という人生の中の大切な時間を過ごせたこと、そしてたくさんの思い出を作ることができたこと、私は本当に幸せ者だなあと感じます。

今年度で思い出がたくさん詰まった前山小学校が閉校することはとても寂しく感じますが、これからの前山、竹山小学校の発展を心から祈っています。



2年生雪遊び～元気いっぱい～



6年生運動会～地域の方へ感謝のエール～



卒業～大切な時間を共に過ごした仲間～

『ありがとう、前山小学校』 丹波市立前山小学校閉校・再出発記念事業実行委員会
記念誌事業部 部長 中井竜司

1999年4月、ワクワクとちょっぴりの不安を抱え、真新しいランドセルと少し大きめの帽子を被り、親に手を引かれながら前山小学校の門をくぐったことを憶えています。

私は当時、今中に住んでおり、それも小学校が目と鼻の先にある家から通学していました。

周りからは「すぐに遊びに行けて羨ましい」とか「忘れ物しても取りに帰れるやん」など良い事ばかり言われていましたが、私はみんなと遊びながら帰れない寂しさや翌日の学校で「昨日の帰り道のあれ面白かったな」といった話題に入れなかった記憶の方が多く、家が近すぎるのも良い事ばかりじゃないんだなと感じた瞬間でもありました。

低学年の頃は喘息持ちで体が弱く、よく学校を休んでいました。

学校から聞こえる遊び声やチャイムの音、帰りにプリントや宿題を持って来てくれる同級生は懐かしい記憶です。

そんな私を大きく変えてくれたのが【前山少年野球クラブ】でした。

喘息で苦しく泣きながら走ったグラウンド、下手なりに夢中で追いかけた白球は、私の心と身体を強くしてくれました。

そして今でも続く友人関係を構築してくれ、感謝しかありません。

こうして文章を書いていると、色々な思い出が蘇ってきます。

字が汚くて嫌いだった書写の時間、休み時間ギリギリまで遊んだドッジボール、変なお土産を買った修学旅行、リレーでバトンを落とした運動会、プールの横に田んぼを作り2匹の合鴨を飼っていた事など書ききれないほど沢山あります。

では、前山小学校で一番記憶に残っている思い出は？と聞かれると、卒業式間近のとある冬の日です。

その日は前日から大雪で、学校も休みになるんじゃないか、どれくらい積もるんだろうという期待感でいっぱいでした。

そして朝を迎えると、外は膝まで積もるほどの大雪でしたが、学校は通常通りあり、少し残念な気持ちで登校したことを憶えています。

グラウンドも誰の足跡もついていない白銀の世界で覆われていました。

本来なら授業の時間でしたが、6年生は外で遊んでも良いとなり、ほぼ1日中、皆で雪合戦や大きな雪だるまを作って遊んだ何気ない日常が、大人になった今でも雪が降るとふと思い出す、私の大切な思い出です。

そんな前山小学校もいよいよ閉校を迎える事になりました。

閉校記念事業の一環で記念誌制作を担当することになり、校舎や授業風景のシャッターを切る度に溢れてくる感謝。

いっぱい怒られ、その倍以上に褒めてくれた先生方、いつも優しく見守り、声をかけてくれた地域の方々、そして沢山の思い出を作ってくれた前山小学校に『ありがとう』

前山小学校は閉校してしまいますが、思い出は無くなりません。

たまに集まって思い出話に花を咲かせることが私達にできる前山小学校へのお返しです。

そして前山小学校から受け取った感謝の心を竹山小学校へ少しずつ返して行きたいと思いません。

ありがとう、前山小学校！



1年生集合写真（小坂里子先生と）



5年生米作り（プール横に田んぼを作って）



6年生大きな雪だるま作り